

## そなえる

1995  
NO. 90毎月15日は  
川崎市民地震防災デーです1995年(平成7)7月20日発行  
発行/川崎市  
編集/土木局防災対策室  
〒210 川崎市川崎区宮本町1番地  
電話(044)200-2111 内線2840

今こそ

## 防/災/訓/練



私たちは、今まで、ロサンゼルスなど国外の地震によって倒壊したビルや落下した高速道路などの映像を見たときに、日本の構造物ははるかに安全性が高く、そのように簡単に壊れることはないと考えていました。ところが、先般の阪神・淡路大震災の惨状を目の当たりにして、あらためて「絶対安全」などあり得ないということを感じ知らされました。

今後、この震災を教訓として建物の構造・材質、消防の設備・技術、情報伝達手段などは改善されていくでしょうが、その反面、高い人口密度や危険物の集積、遠距離通勤通学者の増加や核家族化など、被害や混乱を大きくする可能性のある要素もますます増えていくことでしょう。

川崎市の位置する南関東地域でも、現在直下を震源とする地震の発生が危惧されていますが、私たちはただこのまま手をこまねいて、いつ起こるかかわからない地震におびえ、無防備でいるわけにはいきません。今こそ行政や防災関係機関と皆さん方一人ひとりがあらためて防災訓練を通して、「防災」について「知って、考え、備える」ことが必要なのです。

なお、平成7年度川崎市総合防災訓練の中央会場訓練は、自主防災組織、自治会、町内会、防災関係機関、防災ボランティア等の方々の参加を得て、つぎのとおり実施する予定です。

日時：平成7年9月1日(金)  
午前10時00分～午前11時30分  
場所：多摩区宿河原5丁目(多摩川河川敷)

万一大地震が発生したとき、行政や防災関係機関が対応できることは限られています。正しい知識や情報に基づいて皆さんが適切に行動し、まず我が身と家族を守り、さらにそれぞれの役割分担に基づいて、周囲の人と助け合うことが重要です。今年も川崎市では、8月30日～9月5日の防災週間中に、皆さんがお住まいの地域や職場、学校等で訓練が予定されています。ぜひ積極的に参加され、防災行動力を身につけていただくとともに、次のようなことを各ご家庭で試みてください。

- 1 電気・ガス・水道を使わずに生活してみる。
- 2 家族どうしでケガの応急手当てをしてみる。
- 3 避難場所までの経路を確認しながら歩いて行ってみる。
- 4 1～3までの結果、知らないことや足りないものがあれば確認し、確保しておく。



## あなたの

# 建物は安全ですか？

建築局では、9月から各区役所を巡回しながら木造戸建住宅に関する耐震相談窓口を開設します。なお、「そなえる89号」でお知らせした川崎市まちづくり公社「ハウジングサロン」の耐震診断・補強方法の無料相談も引き続きお受けしていますので、詳しくは「そなえる89号」をご参照のうえ、お気軽にご利用ください。

⇒ 建築局建築審査課 200-3017  
 (財)川崎市まちづくり公社ハウジングサロン 211-7851

また、お住まいの家屋に被害を及ぼす危険性のある宅地等への擁壁や排水施設の設置にかかる資金の融資を次の条件でおこなっています。

1. 申込資格 (1) 土地の所有者または土地所有者の同意を得ている方  
 (2) 年間所得が1千万円以下で、市税を完納している方  
 (3) 連帯保証人をたてられるか、または担保を提供できる方
2. 融 資 額 600万円まで
3. 利 率 年3.42%
4. 返済期間 12年以内

⇒ 建築局開発指導課 200-2726



## あなたの家の

# ブロック塀は大丈夫ですか？

基礎が十分でない、鉄筋が中に入っていない、控え壁を設けていないなどのブロック塀は、地震による倒壊のおそれがあるため早急に改修する必要があります。この改修には川崎市の住宅修繕等資金融資が利用できます。

⇒ 建築局建築審査課 200-3017

また、地震時にも崩れる心配がなく、防火の役目をはたすとともに街なみの景観を良くする生け垣づくりを推奨しています。一定の要件を満たしていれば、助成金も受けられますので、あなたの家を守り、美しく見せる生け垣づくりをしてみませんか。

⇒ (財)川崎市緑のまちづくり協会 222-5195

## 災害時の強い味方＝「震災工作車」

### 川崎市消防局に全国で3番目の導入

地震によって倒壊した家屋や電柱、土砂崩れ現場の土砂の除去、交通事故現場での車両の引き上げなどの作業を行う「震災工作車」が今年の5月1日から川崎市消防局で運用されています。

この「震災工作車」には、クレーン・レッカー・ウインチなどのほか、土砂をつかみあげる掘削バケットや油圧式の削岩機などが装備され、さらに硬質ゴムをエアボンベで膨らませて使用するエアジャッキも積載されており、重量物を「持ち上げる、排除・移動する、引っ張る」などの力仕事に活躍します。

なお、この車両は東京消防庁、静岡県清水市消防本部について、全国で3番目に導入したもので、本市のほぼ中央に位置する中原消防署宮内出張所に配置され、災害に備えていつでも出動できるよう体制を整えています。



クレーンでつり上げる力  
 最短4.5mで2.4t  
 最長9.9mで1t  
 引っ張る力  
 20tトラックまで  
 エアージャッキで持ち上げる力  
 60tまで



ぼくに  
 まかせて!!

